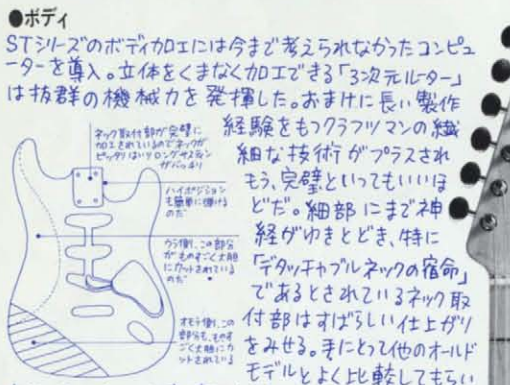
クラフツマンのデリケートな神経、無類の正確さを誇るNCルーター。ここには「手」と現代工学の見事

ST SERIES

細部から全体へ、強い意志とポリシーが生むトータルなバランス感。
オールドを超えたオールドの実力。

●ボディ

STシリーズのボディカロエには今まで考えられなかったコンピューターを導入。立体をくまなくカロエできる「3次元ルーター」は抜群の機械力を発揮した。おまけに長い製作経験をもつクラフツマンの繊細な技術がプラスされもう、完璧といってもいいほどだ。細部にまで神経がゆきとどき、特に「デタッチャブルネックの宿命」であるとされているネック取付部はすばらしい仕上がりをみせる。手にとって他のオールドモデルとよく比較してもらいたい。その違いはハッキリわかる。それがら、良く見て欲しいのだがSTは全体のボディシェイプが現在のストラトと少し違っている。身体にフィットする部分とアームレストのカッティングがものすごく大胆になっている。これがほんとうのオールドのボディシェイプなのだから、もし違っていたとすれば、そのギターはオールドモデルとはいえない。ボディの材料はセン・アルダー・リンデンの3種、モデルによりふりわけられている。(仕様チャート参考)全機種、単板けずりだし。



●ペグ

オールドストラトを完璧にコピーするポリシーはペグにもうぬかりなく見事な出来ばえをみせる。つまり、1954年型ストラトにはクルーソンデラックスがマウントされていたのだがプロジェクトチームは本家のクルーソンを研究、改良し「トーカイクルーソンタイプ」ともいえるペグの開発に成功した。全体の形状はままさにクルーソンデラックス。高性能2条ギヤでガタつきも全くなく、ギアーフリークには最高のプレゼントとなった。国産のオールドモデルには、そのほとんどがオリジナルとは似ても似つかぬロートマ

●ネック

①ペグヘッドを見てもらいたい。全体の形状、フィニッシュ、ネーミングペグ、どれをとっても他のオールドモデルとは比較にならないほど良くできている。あのペグがけには、ものすごく時間をかけたのだ。つまり、これが1954年型ストラトの熱い鼓動を伝えてくれるほんとうのクローシャンヘッドなのだ。デザインが同じでも手をぬいたフィニッシュはいただけない。ギターフリークは微妙なフィーリングを大切にする。

②ネックは全機種、メイプルピース!音質の好みによりローズ指板も用意されている。

③ネックのにぎりはVシェイプとUシェイプの2種類。Vシェイプは1954年型ストラトと同じシェイプで俗にいう3角ネック。長時間のプレイにも疲れを感じないため、フィンガーワークがスムーズでハイテクを自認するプロギタリストは特にこのシェイプがお気入り。Uシェイプネックは少しふくよかで、手によくなじみ、とても弾きやすい。いずれも演奏性バツグン。

④フレッチング(フレット仕上げ)も完璧といえるだろう。まず、フレットがガッチリ食込まれるフレットみぞは、フレットの足が入る深さにあわせて、みぞを1本1本もってある。ハードなプレイにもガッチリ応え、ネックの剛性、音の伝達性が一段と向上した。

●ピックアップ

80人のプロギタリストが絶賛する1954年型ストラトのスプリンギーサウンド。微妙な音色は経年変化によるといわれているがやはりそれだけではない。ピックアップの設計が重要なポイントになって、あのオールド特有の高音域、シャープで枯れた味わい深いトーンが出てくるわけだ。プロジェクトチームは27のピックアップを新開発し、オールドストラトのサウンドに挑戦した。① ST-Aタイプ:1954年型ストラトと同じコイルマテリアルを採用した極秘P.U。オールディーなサウンドを100%再現する秘密兵器とでもいおうか。② ST-Bタイプ:1954年型ストラトのオールディーなサウンドをローコストで再現。といっても他の国産最高級クラスとは劣らない抜群のコストパフォーマンス。

両タイプともにアルニコ(アルミ・ニッケル・コバルトの合金)ポールピース、パラフィン含浸処理がほどこしてある。

SS SERIES

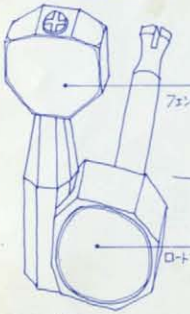
よりファットなストラトサウンドがエネルギッシュに走りまくる。
パワーアップを目ざすギタリストに待望の内容。

●ボディ

ボディは演奏性を重視した結果、あえてオールドスタイルでウエストカットされている。コンピューター制御のNCルーターは抜群の機械力を発揮し、クラフツマンは繊細な技術を生かす。特長ある3点止めネック取付部は完璧な状態に仕上げられ、みごとに「デタッチャブルネックの宿命」を解決してしまった。

●ペグ

SS-40までフェンダータイプ、SS-48以上はフェンダータイプのつまみにロートマティックがついた画期的ペグだ。普通、ロートマティックペグはワッシャーもナットも大ぶりだがSSは特に小さく設計され、重量も軽く、音質にも悪影響を与えない。トーカイクルーソンタイプペグと並ぶ最高級ペグといってよい。もちろん本邦初登場だ。

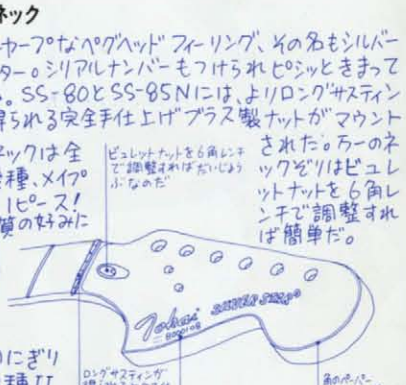


●ピックアップ

よりファットな、よりパワフルなサウンドを追求したニュータイプばかりだ。中でもSS-80、SS-85Nにマウントされているディマジオ社製「ファ

●ネック

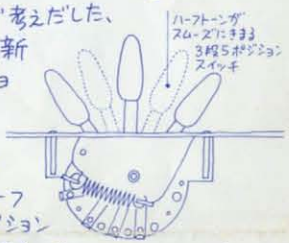
①シャープなペグヘッドフィーリング、その名もシルバースター。シリアルナンバーもつけられピシッときまっている。SS-80とSS-85Nには、よりロングサスティングが得られる完全手仕上げブラス製ナットがマウントされた。ちなみにネックぞりはピュレットナットを6角レンチで調整すれば簡単だ。



②ネックは全機種、メイプルピース!音質の好みによりローズ指板も用意されている。

③ネックのにぎりは全機種Uシェイプだ。丸みが手によくなじみ、フィンガーワークもスムーズだ。

④フレッチングは完全だ。フレットみぞにはスキ間がなく音の伝達性、ネックの剛性がグンと向上し、ギタリストのハードなプレイにもガッチリ応える。

●トーン切替スイッチ

プロジェクトチームが考えだした、まったく独創的な新開発3段5ポジションスイッチを採用した。5段スイッチのようにガチガチする感じがなくハーフポジションでスムーズにきまる新設計表現の幅がひろがりハーフトーンがまったく自由に楽しめる。